

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校
校長 山中 矢展
准校長 中谷 朋世

平成29年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

早春の頃、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。
さて、昨年10月に配付しご協力いただきました学校教育自己診断につきまして報告させていただきます。
なお、記述回答につきましては、複数寄せられたご意見を中心に回答させていただきました。

★報告の内容は下の4項目です。



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

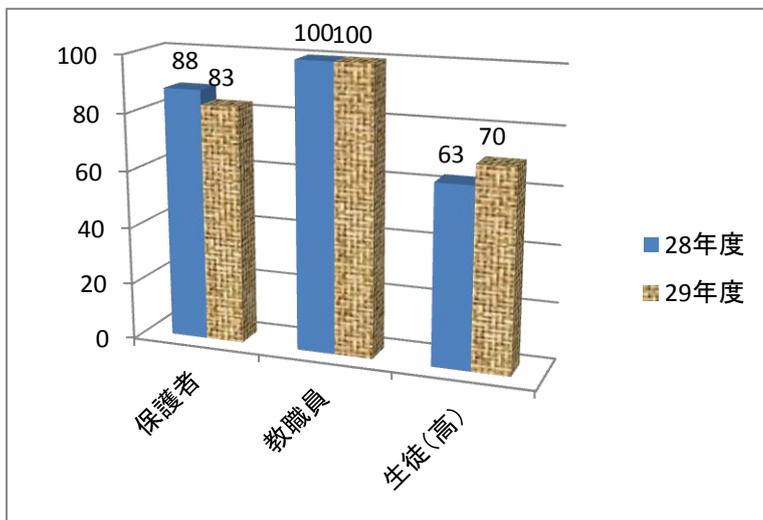
★★★今年度の学校教育計画の達成度を測る基準★★★

- * 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」と回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」と言う回答を否定的と捉えました。
- * 全体に占める割合において肯定的は70%以上を基準として達成度を測っています。また、否定的は30%以上を課題として捉えることとしています。

(1) 提出率

	提出数	提出率	合計	総合・提出率
保護者	307/368人	83%	481/542人	89%
教職員	174/174人	100%		
生徒(高等部)	62/89人	70%		

* 前回との比較



【分析】

- 保護者は、前回と比較して、5%下がりましたが、今年度もご協力ありがとうございました。次年度もより効果的な回収方法を工夫しながら保護者の皆様にご協力をお願いしたいと思います。
- 教職員については、100%を維持できました。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図りたいと思います。
- 生徒については、前回より7%上がりました。ありがとうございます。引き続きご協力をお願いしたいと思います。

(2)集計結果・分析

■肯定的意見90%以上 △肯定的意見5%以上の上昇
▼肯定的意見5%以上の下降

【① 生徒向け（高等部のみ）】

		29年度 %		28年度 %		比較
		肯定	否定	肯定	否定	
1	学校へ行くのが楽しいですか。	89	3	83	7	△
2	学校でのできごとをよく話しますか。	45	37	53	22	▼
3	授業は理解しやすいですか。	68	10	64	14	
4	学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。	66	7	73	9	▼
5	先生とよく話をしますか。	73	11	80	9	▼
6	先生はがんばったことをほめてくれますか。	82	5	86	3	
7	先生はこまっているとき、たすけてくれますか。	76	7	81	3	▼
8	先生はいじめでこまっているとき、たすけてくれますか。	53	2	/	/	
9	進路についていろいろと教えてもらえますか。	53	5	54	9	
10	遠足、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。	■90	0	81	3	△
11	運動会、学習発表会は楽しいですか。	87	2	81	9	△
12	給食はおいしいですか。	89	2	■90	0	

- 11項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は、7項目でした。
 - ・ そのうち昨年より5%以上数値が上がったのは、1番『学校へ行くのは楽しいですか。』10番『遠足、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。』11番『運動会、学習発表会は楽しいですか。』の3項目があり、生徒たちが学校生活を楽しめていることが読み取れます。
- 基準に達成しなかったものとしては、次の5項目が挙げられます。
 - ・ 2番『学校でのできごとをよく話す』は昨年度より8%下降しました。
 - ・ 3番『授業は理解しやすい』は、昨年度から肯定的意見が4%上昇しましたが、引き続き生徒たちの声を真摯に受け止め、よりわかりやすい授業が展開できるよう教材研究に取り組み、授業力の向上へつなげていきたいと思えます。
 - ・ 4番『学校では友達の大切さや社会のルールについて学ぶことができますか』はキャリア教育を進めていく中でも重要な観点であり、よりわかりやすく授業や日常生活の中で取り組んでいきたいと思えます。
 - ・ 8番『先生はいじめでこまっているとき、たすけてくれますか』は今年度新設した項目で、「わからない」が45%を占めます。いじめでこまったことがない等の場合は答えにくい内容であったことが考えられます。いじめの未然防止、早期発見、組織的な対応に引き続き取り組んでいきます。
 - ・ 9番『進路についていろいろと教えてもらえますか』1～3年までの継続した進路学習に取り組んでいますが、生徒にとって「進路につながる話」として浸透していないということも考えられますので、よりわかりやすく伝えていければと思えます。
- 否定的意見が30%以上のものは、2番『学校での出来事をよく話しますか。』の1項目がありました。高等部の生徒対照ということで年齢的なことも関係するのではと考えられます。質問の仕方を検討します。

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

【 ② 保護者 】

		29年度 %		28年度 %		
		肯定	否定	肯定	否定	
子どもの様子	1 学校へ行くことを楽しみにしている。	■92	7	■91	6	
	2 授業を楽しみにしている。	■84	9	■83	10	
	3 給食を楽しみにしている。	■87	9	■86	10	
	4 学校行事（運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など）を楽しみにしている。	■86	8	■82	8	
教育活動	5 『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■95	2	■90	5	△
	6 『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■95	2	■91	4	
	7 子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■87	9	■86	9	
	8 教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	■91	5	■87	6	
	9 『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■95	3	■92	3	
	10 検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている。	■95	3	■89	5	△
	11 避難訓練（地震、火災、不審者、スクールバス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■92	2	■91	3	
	12 体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	■81	4	■76	7	△
	13 いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	■75	3			
	14 あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	■89	2	■82	7	△
15 学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	■82	6	■77	11	△	
16 近隣の小・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流機会を設けている。	■83	5	■74	12	△	
保護者との連携	17 健康に必要な情報（保健だより・食育だより）を適切に提供している。	■97	1	■97	1	
	18 進路に関する情報（進路だよりや保護者説明会など）を適切に提供している。	■94	3	■92	4	
	19 児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	■94	3	■88	6	△
	20 P T Aは、活動を積極的にやっている。	■90	2	■88	4	
	21 学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	■96	2	■94	4	
教育環境その他	22 教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	■90	4	■86	7	
	23 受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	■91	4	■87	6	
	24 校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。	■90	3	■87	4	
	25 校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。	■79	15	■75	19	
	26 施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	■77	16	■71	20	△
	27 災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	■83	4	■83	6	
	高のみ	28 企業・施設・作業所等の進路について必要な情報を提供している。	■86	8	■86	9
29 企業実習・作業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。		■83	9	■78	13	△

- 29項目中、すべての項目が達成基準に達しました。また、29項目中26項目で昨年の数値より上昇が見られました（残り3項目のうち2項目は昨年と同じ数値、1項目は新設）。
- 12番『体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行なっている』については肯定的意見が上昇し80%台になりました。継続して取り組んでいます校内人権研修等の取り組みの成果も表れていると考えられます。今後も引き続き人権尊重の意識を大切に組み込んでいきたいと思えます。
- 15番『学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている』は、肯定的意見が8割を超え、キャリア教育という言葉、内容の浸透、理解が深まってきたと考えられます。
- 否定的意見が3割を超えたものは、昨年度に引き続きありませんでした。

【 ③ 教職員 】

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

		29年度 %		28年度 %			
		肯定	否定	肯定	否定		
教育活動	1	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■96	3	■95	2	
	2	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■96	3	■95	4	
	3	発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■96	3	■93	4	
	4	学習や指導における教材や教具は、工夫・配慮している。	■97	2	■94	4	
	5	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果など適切に評価している	■96	3	■93	4	
	6	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている	■97	2	■97	2	
	7	避難訓練（地震、火災、不審者、スクールバス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■96	3	■95	4	
	8	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	■93	6	■93	4	
	9	いじめ（疑い含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応できている。	■90	9			
	10	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	■94	6	■91	8	
	11	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	■92	8	■91	8	
	12	企業実習・作業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	■92	7	86	9	△
	13	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	■90	9	87	11	
保護者との連携	14	保健だより・食育だよりなど、健康に必要な情報を適切に提供している。	■97	2	■97	2	
	15	進路について必要な情報（進路だよりや保護者説明会）、また企業・施設・作業所等の情報を提供している。	■98	2	■93	6	△
	16	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に対して、適切に対応している。	■97	3	■95	3	
	17	P T Aは、活動を積極的に行っている。	■93	1	■93	5	
	18	連絡帳や電話を通じて、保護者との連携をきめ細かく行っている。	■98	2	■98	1	
19	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■99	1	■97	2		
視覚支援	20	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境を、児童・生徒の障がい特性に応じて視覚的にわかりやすく示している。	■96	3	■95	3	
	21	児童・生徒の特性に応じて、授業が視覚的にわかりやすくなるよう、教材や内容提示の方法などを工夫している。	■97	2	■94	3	
組織マネジメント	22	校長・准校長は自らの教育理念や学校経営について、考え方を明らかにしている。	■96	4	■94	4	
	23	校長・准校長は学校経営にリーダーシップを発揮している。	■91	8	■90	9	
	24	学校運営に教職員の意見・意向が反映されている。	73	26	71	27	
	25	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	85	14	82	16	
	26	会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている	82	17	80	19	
	27	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	75	25	75	24	
	28	体罰の防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるよう、研修等に取り組んでいる。	■91	9	■91	7	
	29	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	75	24	79	20	
	30	分掌、学部、学年それぞれの連携は図られている。	73	26	74	24	
	31	労働衛生環境は少しずつ改善している。	51	49	49	50	
	32	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業時間の準備など、労働条件は少しずつ改善している。	47	53	43	56	
33	学校の課題を見つけ、改善に向け取り組みを行っている。	70	30	75	23	▼	

- 1～21番までの21項目中、すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 22～33番までの「組織マネジメント」12項目では、31番『労働衛生環境』、32番『労働条件』の2項目が7割に達せず、否定的意見は3割を大きく超えました。昨年より若干数値は上昇しましたが、学校の規模が大きく、教員数も非常に多いため会議設定も多く、臨時で行なわれる打ち合わせ等も頻繁で、そのほかにも教材準備、研修や事務的作業等の勤務の実態があります。

【③ 教職員つづき】

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

			29年度 %		28年度 %		
			肯定	否定	肯定	否定	
地域連携	34	地域支援においてセンターの機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制が整っている。	87	12	86	11	
	35	地域の幼稚園・保育所・小中学校・高等学校との連携・支援を行っている。	87	12	86	12	
	36	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	■90	10	88	9	
	37	消防署や警察と連携した『子どもの安全を守る』訓練は充実している。	■93	7	■92	6	
	38	地域に開かれた研修会が行われている。	■92	8	86	12	△
教務	39	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	■95	3	■93	4	
総務	40	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	63	36	61	38	
	41	学校予算は適正に編成・執行されている。	87	13	81	17	△
	42	P T A活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	82	18	81	17	
	43	個人情報の管理における校内システムは確立している。	■90	9	■91	7	
	44	情報公開に対応するための教職員の共通理解が図られている。	82	17	88	11	▼
	45	I C T教育の推進に必要な機器（大型モニター、タブレット端末など）は充実している。	65	35	71	28	▼
	46	日々の教育活動においてI C T機器（大型モニター、タブレット端末など）を積極的に活用している。	88	12	83	16	△
行事	47	運動会や学習発表会、作品展等の校内行事の運営が適切に行われている。	■96	4	■95	4	
生活安全	48	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	■93	7	■92	7	
	49	全校集会など児童・生徒会活動は活発である。	■97	3	■92	7	△
	50	校外外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	■97	3	89	10	△
	51	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	■93	7	89	10	
	52	校内の清掃活動を意欲的に取り組んでいる。	87	13	76	22	△
	53	保健室は健康に関する相談がしやすい。	■93	6	■94	4	
	54	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■97	2	■97	0	
	55	給食は子どもの実態に合ったように作られている。	■95	5	■92	5	
支援教育	56	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談など）が受け易い体制が整っている。	■91	8	■90	7	
	57	校内研修は計画的に実施されている。	■92	8	■90	9	▼
	58	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができる。	■90	10	87	12	
	59	キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。	81	18			
進路	60	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	■93	6	■91	7	
	61	卒業式のアフターケア（進路先訪問や進路の変更の相談など）が行われている。	■90	8	86	12	

- 34～61番までの28項目中、26項目が達成基準に達しました。
- 40番『施設や設備は安全に整備されている』は、昨年に引き続き若干の数値の上昇が見られました。まだまだ課題ではありますが、現場の教員の気づきに対して迅速な整備・修繕へと反映されていることが考えられます。来年度の大規模改修での改善が期待されます。
- 45番『ICT機器』に関しては、少しずつ機器は新規で購入されていますが、授業等で活用する教員に加え、使用できる児童生徒数の増加、使用頻度の上昇により機器の数が追いついていないと考えられます。50周年の記念品として新たにパソコン12台が追加されましたので、有効に使用していきたいと考えています。
- 否定的意見の数値の高い項目（20%以上）についても、特に細かく検討していきます。

(3) 記述回答【多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。要約しますと以下の通りです。】

1 施設設備に関して

○老朽化した施設・設備を安全に整備してほしい。明るくしてほしい。

来年度に管理棟、中学部棟の大規模改修が実施されます。より子どもたちの実態に即した改修となるよう要望をしていきたいと考えています。また、対象でない場所についても随時要望はしてまいります。

2 学校行事に関して

○運動会について検討してほしい。（開催時期、学部別、種目数など）

来年度は大規模改修が実施されるため、運動会については6月開催となります。再来年度以降の開催については今後検討を重ねてまいります。

○行事の際のセキュリティを上げてほしい。駐車場を確保してほしい。

今年度は、各行事において一般受付・保護者受付・車両受付を設置させていただき、お名前、人数の確認、保護者証・リボンの着用を徹底させていただきました。運動会の途中での出入りにつきましても保護者証・リボンのチェックをさせていただいております。引き続き入校時のチェック等につきましては、強化させていただきます。

駐車場につきましては、子どもたちの安全確保、学習及び活動機会の確保を第一に考えておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

3 教育活動に関して

○教職員の質の向上を望む。障がいに応じた声かけや接し方を望む。

支援学校の教員として、障がい特性の理解、子どもたちへの関わり方、支援の方法等、日々研鑽を深め、子どもたちのために丁寧な対応をしていくことを全職員で確認してまいります。

○勉強の時間が少ない。

本校は知的障がい支援学校として、子どもたちの実態等を考慮して教育課程を編成しておりますが、宿題を初め、個別の取り組みについても充実してまいります。

○全学部との引継ぎを丁寧にしてほしい。

本校では次年度を迎える前に、小一中・中一高それぞれの間で引継ぎの機会を設けて行なっておりますが、子どもたちが新しい環境に少しでも早く慣れ、スムーズに移行できるよう、今後もより丁寧に学部間の連携を強めていけるよう取り組んでまいります。

(4)まとめ【学校協議会の提言等】

- I 保護者向けと教職員向けの共通した項目の達成度を総合的に見た場合、すべての項目が達成基準に達しており、今年度の学校教育計画に基づく各種取り組み（支援）は、概ね達成していると捉えたいと思います。また生徒向けの達成度では、12項目中7項目が基準に達しましたが、「わからない」と回答した人が多かった項目が複数あったため、伝わりやすい文言に次年度は修正したいと思います。
- II 保護者向けアンケート結果で肯定的意見が70%台のものについては、今後改善に向けて重点的に取り組んでいきたいと思います。
また同様に、否定的意見の数値が高めのもの（20%台）についても改善に向け検討してまいります。

【学校協議会からの提言】

- ★生徒向けのアンケートの文言について、何を測りたいのかを明確にし、より答えやすい文言となるように再考してください。
- ★昨今、福祉制度の変更が非常に複雑になってきているため、情報提供や協力をさせていただきたいです。

- III 昨年度から今年度にかけて、保護者の方から寄せられたご意見の中で、今年度検討し改善や対応ができたものを一部挙げさせていただきます。
- 1) 施設設備の改善について・・・来年度行われる大規模改修に向け、子どもたちが日頃使用する教室等を優先的に実施してもらえるよう現在要望を上げています。
また、今年度50周年を迎えるにあたり、PTAより大型TV、ノートパソコン、大型冷風機、バスプラットホームの壁面整備、花壇等多数の寄贈をいただきました。また、柳田製作所様から朝礼台、掲示板、八尾中央ライオンズクラブ様からソーラー時計台を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。
- 2) 不審者を防ぐ対応について・・・3大行事（運動会、学習発表会、作品展）において、一般受付・保護者受付、車両受付の方を行い、来校者の人数についてもチェックを行いました。また、保護者証、リボンの着用を徹底させていただきました。今後ともご協力をお願いいたします。

*ご意見につきましては、すぐの実現できるものや検討に時間を要するもの等ございます。
今後もすべてのご意見について、各部や関係部署で真摯に検討を続けてまいります。
ご協力ありがとうございました。（*この報告は、3月末までに学校ホームページに掲載いたします。）